

maonline.jp

東京五輪スケボ表彰式で見切れて話題になった「ハウスイ」とは？

ハウスイは2008年3月に日本水産<[1332](#)>の水産流通部門を会社分割した水産流通の第三者割当増資を引き受け、60%の株式を取得して子会社化。同4月には日本水産が11.10%を出資し筆頭株主となっている中央魚類<[8030](#)>子会社の中央冷凍とハウスイが合併する。

これにより中央魚類はハウスイ株の54.5%を取得して、子会社化した。中央魚類は東証2部上場企業で「親会社が2部、子会社が1部上場」という逆転現象が起きている。2008年に実施した一連の合併により、ハウスイは卸売機能と物流機能を取得し、水産総合流通企業として存在感を高めた。

2018年10月には築地市場の豊洲移転に伴い、水産卸売場に隣接する区画で冷蔵庫棟を建設。併せて本社も移転した。これが五輪の表彰式で「見切れた」建物だ。

ハウスイの2021年3月期連結決算は、売上高が前期比3.4%増の832億6500万円、営業利益が同46.6%増の12億3000万円、経常利益が同53.6%増の11億6300万円、当期純利益が同75.9%増の7億9800万円と増収増益という「金メダル」級の好決算に。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行拡大に伴う外食自粛で業務用食品需要は減少したものの、家庭での食事が増えたことにより市販用食品の消費が増加したため大幅な増益となった。コロナ禍にもかかわらず、業績好調な優良企業だ。

文:M&A Online編集部

関連記事はこちら

- ・[追い詰められた菅政権、残る選択肢は「パラリンピック中止」か？](#)
- ・[五輪イヤー、企業買収との相関は？](#)